

あなたとさいたまをむすぶ

トトロのふるさと

Hometown of "TOTORO"

埼玉民医連

医療生協さいたま

ワークスタイルマガジン

Oct
2015
No.173

10

埼玉協同病院の

歩みと現在。

トトロのふるさとFriends 企画第一弾

医師たちの救急事情

埼玉といえば…なに？

埼玉あるある 4コマ漫画連載中！

リニューアル
創刊2号

これから医師になる
あなたへ

ワークスタイルマガジン
トトロのふるさと

〒333-0831 埼玉県川口市木曽呂1317番地 048-296-5822
埼玉協同病院 教育研修センター www.skymet.jp/ デザイン・編集：パソナグラフィック株式会社

Doctor's Off Time

ドクターズ・オフタイム

秩父生協病院 内科 村岡 雷太

薪ストーブで 火とともに暮らす生活



我が家には薪ストーブがあります。薪ストーブを使う人は3回温まるといいます。
1 回目は木を切り出すときです。木が伐採されたとの情報が入ると、薪ストーブ仲間とチェーンソーを持って薪集めに行きます。
2 回目は薪を割るときです。薪割り機も使いますが、割りやすい木は斧でも割ります。狙った通りにきれいに割れるとストレス解消です！
そして3 回目は燃やすときです。薪ストーブ1台で家じゅうが温まり、朝起きる時も寒くて布団から出られないということがなくなり、また、炎を見ていると心も温かくなるし、薪ストーブで作った料理を食べると体の中から温まります。天板でスーパを温めたり、炉の中でピザや焼き鳥を焼いたり、芋をホイルで包んで入れておけば焼き芋も！
薪集め、維持・管理など大変な面もありますが、火と共に暮らす生活は一度経験するとやめられません！

Information

学習講演会

医師を含む職員の学習の場として、「感染症」の「消毒」をテーマにした講演会を開催します。

■日時 10月28日(水) 18:00～20:00
■会場 埼玉協同病院 ふれあい会館
■対象 医師・コメディカルスタッフ・医学生
■参加費 無料

奨学金制度説明会

■日程 10月17日(土)、11月21日(土)、12月5日(土)、1月9日(土) いずれも10:30～12:00
■会場 埼玉協同病院
■対象 医学生
【埼玉民医連・医療生協さいたま奨学金制度概要】
①貸与金額 月額80,000円
②返済免除制度あり(当法人に入職した場合)
③特別貸付制度・入学時貸付制度あり

埼玉協同病院 見学・研修説明会

■日時 10月24日(土)、11月28日(土)、12月26日(土)、1月30日(土) いずれも10:00～12:30
■会場 埼玉協同病院
■対象 医学生

埼玉民医連・医療生協さいたま 第22回奨学生交流集会

奨学生交流集会は、医師・歯科医師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士を目指す学生たちが、将来ともに働く仲間として年に一度集まり、学習と交流をしています。奨学生ではない方も参加できますので、お問い合わせください。

■日程 12月20日(日) 9:30～19:00 予定
■会場 J A 共済埼玉ビル(大宮駅より徒歩12分)
■対象 医学生
■参加費 無料
■内容 一年間の活動報告・交流会を行う予定です。

お申込み
お問合せは
こちら

埼玉協同病院 教育研修センター SKYMET
☎ 048-296-5822 ✉ skymet@mcp-saitama.or.jp

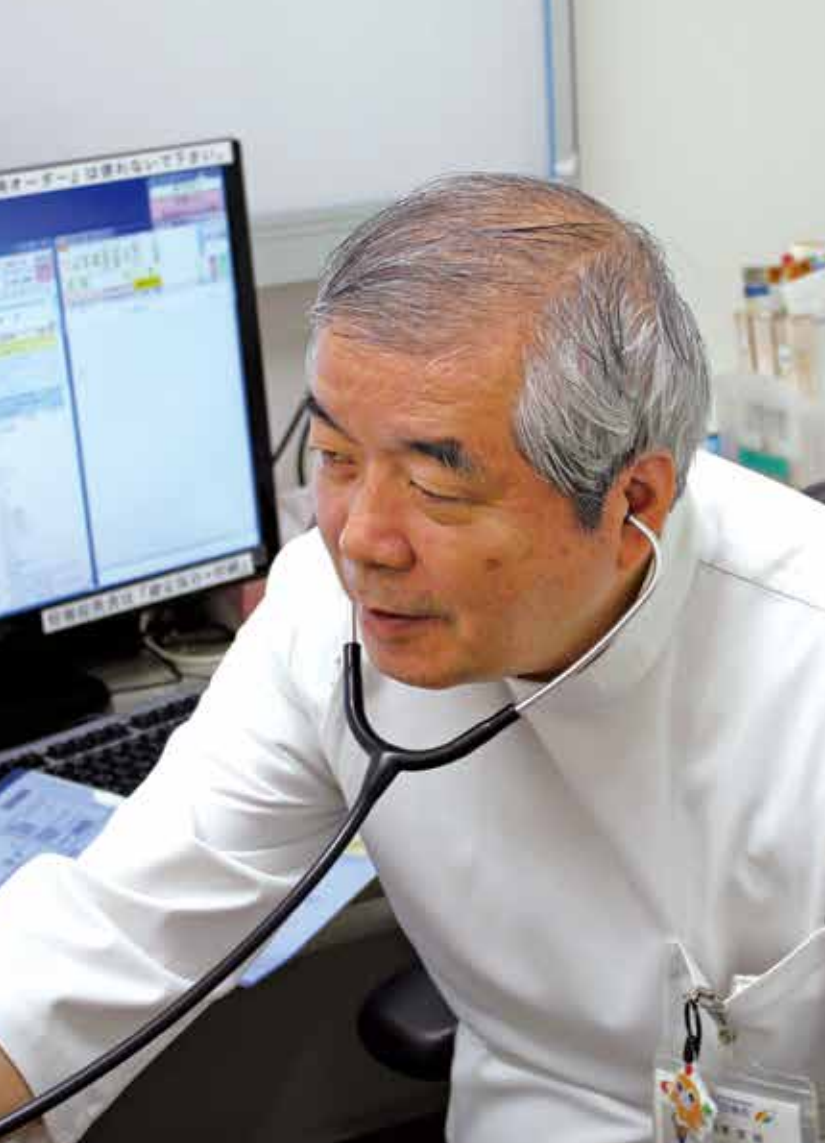
発行:

埼玉民医連

医療生協さいたま

M4251114789651524





地域住民が安心して暮らすために、 後継者を養成する病院建設を

そ の後、医者になった訳ですが、埼玉県には医者を教育する民医連の病院が当時はありませんでした。そこで私は民医連の山梨勤労者医療協会巨摩共立病院で研修を受け、内科の研修から始めて最終的に外科医になることを決めました。その後、埼玉に戻り、病院建設に参加しました。私が埼玉協同病院の院長になったのは47歳のときです。その頃、埼玉民医連の長期計画で、この病院に①埼玉全体の医療の質を高めるために、人材を育成する、②地域の拠点病院としての役割を担う、③埼玉県の行政に対して、提言ができるような病院にする、④絶対に赤字を出さない、

という4つの任務が課せられました。それからは徐々にスタッフを育て、ベッド数を増やし、地域の人たちの信頼を得ることで、少しずつ設備が充実していきました。そして、94年には臨床研修指定病院として、当時の厚生省から公的に認められ、今の埼玉協同病院の形ができあがりました。

研究者になる、救急を担当する、心臓とカテーテルだけを専門にするなど、同じ医者でもいろいろな種類があります。それぞれに考え方があって、地域住民の要望に応えられる医者です。自分がやりたいことをやるのではなく、地域の人たちが何を求めているのか、常に関心を持って誠実に応えていく。それが私の持つ、理想の医師像であり、本来の医者のあり方だと思えます。私は、その役割が果たせる病院を埼玉県に作りたかったのです。

社会の動きに目を向け考え、 本当に必要とされる医者に

私

は周囲の要求に合わせて内科から、外科、そしてまた内科へと自分の専門を変えてきたという経歴があります。正直、

地域の人たちに伝えられるような医者でさえあれば、小児科でも産婦人科でも本当に何科でもよかった。定年を過ぎた現在は診療所で在宅医療にも関わっていますが、それは一定の費用負担がある施設に入らず、自宅で何とかするしかない人たちのために行っているという側面もあります。

医者にとって私が一番必要だと思うのは、『ちゃんと世の中を見る』ことです。医療や医学を勉強するのは、当たり前のことです。これから日本がどうなるかとしているのか、この国の中で自分は医者として何ができるのかと考えるのが重要です。学生時代も、医者になってからも、社会の動きに常に目を向けていられるような人間でなくては、本当に国民のためになるような医者にはなれません。これから医者を目指す人には、そのことをよく考えてほしいと思っています。

肥田 泰 | Profile

出身 東京都

大学 1972年 東京大学医学部卒業

職歴 1972年 山梨勤労者医療協会巨摩共立病院
1976年 浦和民主診療所・さいわい診療所
1978年 埼玉協同病院
1985年 埼玉西協同病院院長
1992年 埼玉協同病院院長 全日本民医連理事
2000年 全日本民医連副会長
2002年 全日本民医連会長
2010年 浦和民主診療所所長



浦和民主診療所所長
元全日本民医連会長

肥田

泰

ゆたか

#03

Message
from
the Doctor

人生をかけて埼玉協同病院の設立に尽力

「どんな人にも平等な医療を」という信念のもと、
地域の住民が、安心して生活できる環境づくりに邁進。
数々の病院で内科や外科の経験を積みつつ、
1978年、医師をはじめメディカルスタッフを育成する
「埼玉協同病院」を作ったスーパードクター。

医師である父親に 理想を抱いて

私

が医者になった一番の動機は、父親の姿にあります。父は、広島で原爆を体験し、医者として被爆した人たちの治療に当たりました。父はその過程で、核兵器はやはり許せないと思い、貧しい人たちに十分な医療が行き渡らない現実を憤りを感じて、組織を作り、お金のあふれる世の中を作るという取り組みをしてきました。父は往診の依頼は一切断らず、最初の頃は自転車の後ろに看護師さんを乗せて、街の中をかけずり回っていたんです。そんな父の背中を見て育つうちに、自分も貧しい人たちの役に立つ医師になればと思い、医者を志しました。

学生の頃は、学生運動にも参加しました。『当時の大学病院は生活保護の患者を診ない』ということに疑問を感じたのが学生運動に参加した理由の一つです。貧しい人間は、医者にもまともにかかれぬのか。まるで命を差別するような……『法の下の平等』とは一体何なのかと。こういうことは、絶対許してはいけません。お金を持っている人たちに奉仕するような医者か、貧しい人たちが平等に救う医者か、自分はどちら側に立つ人間なのか。今でも頭の中にある基本的な考えは、学生の頃からずっと変わっていません。

「お金のあふれるなしに関わらず
すべての人に適切な医療を」

玉協同病院で初期研修を終えて、私が選んだ道は消化器内科でした。10年ほどやっていました。長く続けると当たり前ではあるんですが、どんな専門性が高くなっているか、自分の求める道はこれだったのかな、このまま狭い世界に進んでいくのかな、と考えてしまい……。そんなときに、院長から「救急をやってみないか」と声をかけていただいたのが、私が救急を選んだ始まりです。

やるならイチから勉強したいと思い、まずは家から通える千葉の東葛病院へ行きました。その後約1年間、北九州の大手町病院で救急医療の研修をしました。

実はまだ、埼玉協同病院には、救急科はなく、自分ともう1人の先生が救急を担当しているという状態です。でも、スタッフの数や設備などの体制が、次の救急車を1台受け入れられるかという問題にかかっている……。それは埼玉協同病院だけではなく、人口比率の医師数が全国一少ない埼玉県全体の問題でもあります。また、「ERは社会の窓」という言葉がありますがその通りで、世の中の流れを色濃く反映するのがERなんです。例えば全身疾患や経済的に困難を抱えた人が、外来にかかれず一番最初にたどり着くのがERです。いかに病気を治すかということも確かに重要ですが、そういう人たちをサポートできる体制があるのも埼玉協同病院の魅力だと思います。

#04
Message from
the Doctor

埼玉県の救急医療を全力でサポート

消化器内科で約10年の経験を積んだ後、ERの担当に。はじめは戸惑いながらも、全力で打ち込むことを決意し救急医療に積極的な、北九州の健和会大手町病院へ。目指すのは、救急に問題を抱える埼玉県をより安心して暮らせる場所にすること――。

埼玉協同病院

もり や よし か ず

守谷 能和

埼玉協同病院の

ERの医師として1台でも
多くの救急車を受け入れたい



研修医とともに考え
悩んで成長していく

私

が好きな批評家の内田樹さんの言葉に、『キャリアのドアにドアノブはない』というのがあります。キャリアやチャンスは自分から開けるものではなくて、向こうが開けてくれるのを待つ。そして、開いたらそこに飛び込んでいくことです。今回の救急の話が、私はこれに当たると判断しました。医者になったからには、やはり、世の中の役に立ちたい。働くということは、つまり人の役に立つということです。それは減私奉

公とか大げさな意味ではなく、人が求めてくれることをやりたいと素直に思いました。大手町病院での研修で、いちばんよかったと思うのは研修医との学習です。ERは研修医と密接なつながりが持てる場所でもあるので、常に新鮮な気持ちで取り組むことができました。なので、埼玉協同病院でも研修医との関わりを大切にしたいと思っています。人材を育てたいという意味でも重要だし、自分の成長という側面から見ても、患者さんを目の前にして、研修医に教えるというより、一緒に考えていく、悩んでいくということが力になると思うんです。だから今は常にERにいて、いつでも

研修医の相談にのれるような関わりをしていきたい。そのためにはやはり、やる気のある研修医にきてもらえると嬉しいです。

自分が必要とされるところで
働いてこそ意味がある

埼

玉協同病院は、いち市中病院なので、有名病院のような立派な研修にはならないかもしれない。でも、ここには埼玉の地域医療の質を高めたい、ひとりでも多くの人の命を救いたいと考える医師がたくさんいます。そして少なくとも、ほかの病院の人が聞いて恥ずかしいという研修にはしたくないし、するつもりもありません。そういう意味で、覚悟を決めて飛び込んできてくれるような研修医がきてくれたらな、いつも思っています。

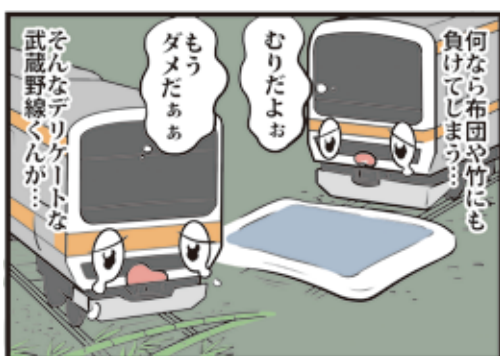
これから医師を目指す人も、他の職業を目指していく人も、先ほど言った『必要とされるところで働く』という考えが、重要なんじゃないかと思います。特に医師や看護師などの医療従事者は、命を預かり、病気で社会にとけ込めない人のサポートをするなど、自分の動きや考え、実力などが人の運命を決めてしまうこともあります。だからこそ、自分がこれをやりたいからといって、求めてくれる人がいなければ成り立ちません。人が何を自分たちに求めているのか、今世の中でどういう問題が起きているか。自分はどういう問題が起きているか。そういった側面からも、仕事というものを考え、選んでほしいと思います。



守谷 能和 | Profile

出身	埼玉県狭山市
大学	2005年 香川大学医学部卒業
職歴	2005年 埼玉協同病院入職 2014年7月 ~2015年6月 健和会大手町病院 救急科に外部研修 2015年7月 埼玉協同病院 ER

さいたまあるある 4コマ 雨ニモ負ケズ…?



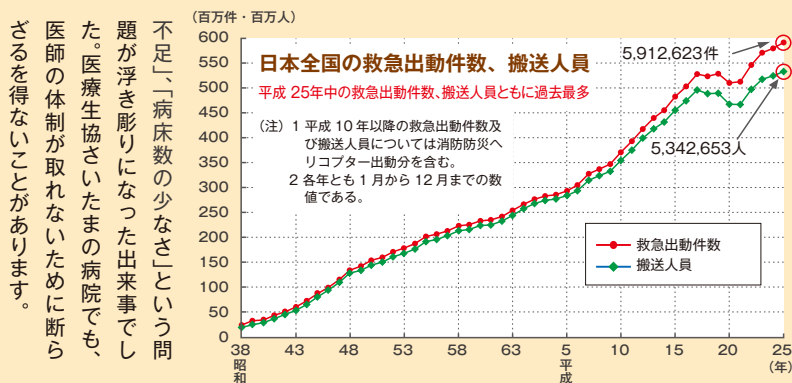
さいたまあるある ↑↑

埼玉県民の日にディズニーランドで知り合いとばったり!

11月14日は埼玉県民の日。ディズニーランドが埼玉県民で溢れかえります。ランド行くと絶対知り合いに会います。残念なのは、今年は埼玉県民の日が土曜に被ってしまったこと。・・・激混みじゃん(泣)

埼玉県の救急事情

全国の救急出動件数、搬送者数はともに年々増加しており、平成25年は591万2623件もの救急車要請がありました。これは救急車が約53秒(前年54秒)に1回の割合で出動しているという計算になります。埼玉県は平成25年の年間搬送者数は27万5839人(平均11万6059人)で、全国5位の多さです。その埼玉県で問題となっているのが救急患者の「たらい回し」です。久喜市在住の男性が36の病院から受け入れを断られ、他県の病院に受け入れが決まるまでの間に容態が悪化し死亡したというニュースは全国に衝撃を与えました。このニュースでは、25の病院が「処置困難」「満床」を理由に受け入れを断ったそうです。まさに埼玉県の「医師

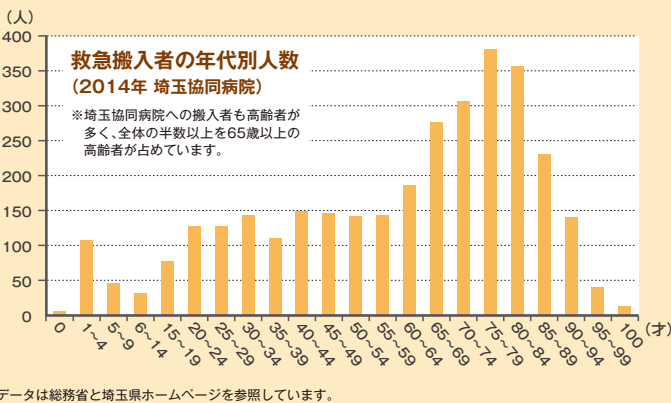
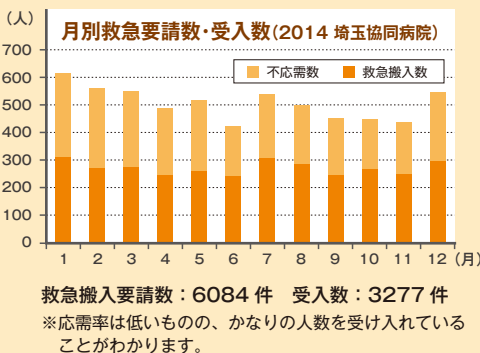


不足」「病床数の少なさ」という問題が浮き彫りになった出来事でした。医療生協さいたまの病院でも、医師の体制が取れないために断らざるを得ないことがあります。

2013年 都道府県別平均搬送時間(ワースト)

1	東京	54 分 36 秒
2	埼玉	45 分 24 秒
3	千葉	44 分 6 秒
：	省 略	
45	富山	29 分 54 秒
45	福岡	29 分 54 秒

その他にも単純に高次の医療機関でないと治療ができない、退院後の行先がないなど、理由はたくさんありますが、大きな要因となっているのはこの2点です。2013年の都道府県別平均搬送時間(ワースト)でも、埼玉県は東京に次いで2位と搬送されるまでの時間が長くなっています。



もしばらく、救急搬送者数は右肩上がりに増加していくことが見込まれます。(守谷医師講義より)

トトロのふるさと Friends 企画第一弾は、医学生向けに「医師たちの救急事情」と題し、埼玉や埼玉協同病院の救急事情の講義とBLS講習を行いました。講師は埼玉協同病院 ER担当の守谷医師。参加者は医学部1年生1名、3年生2名、5年生2名の計5名となりました。今回、人工呼吸は全員使うのが初めてのバックバルブマスクを使い、BLS講習経験者にとっても貴重な体験となりました。

BLS Point! BLS ポイント

- 1 息をしているかどうかの確認は10秒以内! 迷ったらとにかく心臓マッサージ!
- 2 マウスツーマウスは難易度高し! 初心者の場合は心臓マッサージのみひたすらやるべし!
- 3 AEDパッドを装着する時も心臓マッサージは続けるべし!



リーダー(指示・AED操作)・人工呼吸担当・心臓マッサージ担当に分かれてロールプレイング。

きみもトトロのふるさとFriendsに登録しよう!

医学生、そして、医学部を目指している皆さんにご案内します。埼玉は人口当たりの医師も看護師も病床も日本一少ないにも拘らず、今後日本一急速に高齢者が増える県です。このままだと増大する需要に対応出来ず、現在の医療崩壊状況がさらに悪化することは必至です。埼玉県で働く医師や看護師を抜本的に増やすが事どうしても必要であり、この問題の解決と一緒に取り組んでくれる仲間として、会に参加してくれる方の応募を心からお待ちしています。

トトロのふるさと Friends に参加していただける方は右のQRコードを読み取り、登録フォームよりご登録ください。



連絡・問い合わせ先

埼玉協同病院 教育研修センター

<http://www.skymet.jp/>

<https://www.facebook.com/kyoudou.skymet>



埼玉協同病院 院長 増田 剛

トトロのふるさと Friends

埼玉の医療を考える会

企画第一弾

「医師たちの救急事情」報告



講義風景

Student's Voice 学生の感想 (一部抜粋)

実際に救急をやってらっしゃる先生と近い距離で講義と講習を行うことができて、とても質問しやすかった

初めて心臓マッサージの体験をした。いざやってみると頭の中が真っ白になるので、練習が必要だと思った。

初めて教わったBLSの内容より新しい情報をたくさん身に付けることができた。

【企画第二弾】

「がんばれ医学部受験生! 模擬面接会」

トトロのふるさと Friends 企画第二弾は、医師を目指す高校生・受験生を応援する企画です。医師が面接官役になり、本番さながらの緊張感を持って面接の練習ができます。模擬面接終了後は、若手医師や現役医学生との交流会もあります。

■日程	10月24日(土)
■会場	埼玉協同病院
■対象	医学部受験予定の高校3年生 および高校卒業生
■申込締切	10月15日(木)

詳しくは埼玉協同病院 教育研修センターのホームページをご覧ください。